



日刊  
印行兼編輯人 川崎文治 本社ト同番地  
印刷所 常磐毎日印刷所 (電話六三〇番)  
常磐毎日印刷所 (電話六三〇番)

刊 今 日 六 七 十 月

だら  
心組はそのつりなんだが  
どやしつけられた背中と  
それ以來  
びんと張らなくなつた腰か

二階から落ちた  
自分に送る詩  
高野牧夫  
このものが非常に軽くて  
氣持がこれまたいゝんで  
ふ一ぱり二階から舞ひ降り  
た。

(漫詩)

手強い苦情が  
でた事文けは確だ。  
公債、兩替  
債券、質商

貸家案内

白銀町 商店向  
全全全全全全全全  
仲間町 勤人向  
全全全全全全全全  
柳町 全勤人向  
全金全金金金金金  
金全紳士向 金五圓半錢  
但風呂場附 金五圓半錢  
金八圓 金拾貳圓  
金五圓半錢 金拾貳圓  
金五圓半錢 金拾貳圓  
金八圓 金八圓

加藤營業所

白銀町(電話三二〇番)

我れ今、六月の夜の  
草むらにあり。

あはれ  
虫の鳴く唄を  
無言のまゝ  
連れだちて  
秋の夕  
亡き母と  
連れだちて  
この草むらに  
聞きたりき

健胃ビタミン散  
小野常治謹製

<b>市原醫院</b> 平町田町(舊診療所向)電話一一四番 <b>大和田醫院</b> 新築移轉 氣管食道科 平町南町(舊診療所向)電話一七〇番	<b>永山酒造店小賣部</b> 平町四丁目平驛通り 電話二〇七番 (空瓶交換仕候)	<b>ユラノスケ柏取燒酎發賣</b> 二合白瓶 貳拾五錢	<b>金光堂時計店へ</b> 電話七三六番 新荷着是非御用命を 時計、蓄音器、修繕大勉強
--	--	---------------------------------	---

<b>平看護婦會</b> 平町南町(舊診療所向)電話三〇七番 看護婦派出の求めに應す	<b>松村醫院</b> 平町南平(舊診療所向)電話七〇一七〇番 内科、小兒科 市原卯太郎 外科一般、婦人科 市原陸郎 外科、梅毒、淋毒 市原三三男	<b>天麩羅</b> うどん そば もちそば えんどう	<b>料理仕出し</b> 鮑節食料品 醬油味噌 たひら正宗
--	---	--------------------------------------	--

<b>木村外科專門</b> 花柳病専門 入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番 木村外科醫院 昭和四年六月十六日 父勝藏儀病氣の處療養相不叶 十六日午前六時死去仕候間不取敢 熟知各位に御通知申上候 追申 葬送の儀は十八日午後二時自宅出 棺神谷鍊川弘源寺に於て佛式を以て相 葬可申候	<b>外柳病専門</b> 入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番 木村外科醫院 昭和四年六月十六日 父勝藏儀病氣の處療養相不叶 十六日午前六時死去仕候間不取敢 熟知各位に御通知申上候 追申 葬送の儀は十八日午後二時自宅出 棺神谷鍊川弘源寺に於て佛式を以て相 葬可申候	<b>木村外科醫院</b> 入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番 木村外科醫院 昭和四年六月十六日 父勝藏儀病氣の處療養相不叶 十六日午前六時死去仕候間不取敢 熟知各位に御通知申上候 追申 葬送の儀は十八日午後二時自宅出 棺神谷鍊川弘源寺に於て佛式を以て相 葬可申候
--	--	---

ヤマフルの商品券が一番  
御進物には



時計貴金属眼鏡各種  
蓄音器

ビクターレコード

金光堂時計店へ  
電話七三六番  
新荷着是非御用命を  
時計、蓄音器、修繕大勉強

